

大会宣言(案)

本日私たちは、愛労連第58回定期大会を開催し、むこう1年間の活動方針を確立しました。大会では、賃金・労働条件の改善や改憲阻止に向けて、運動の成果を共有し、豊かな経験と教訓・課題を明らかにして、暴走する安倍政権に職場・地域から反撃する決意が語られました。

組合員のみなさん

安倍政権の国民に背を向けた経済政策は、富裕層と大企業ばかりを優遇し、労働者・国民との矛盾を激化させています。大企業の内部留保は400兆円を越え、品質データの改ざんなどモラルの低下が後を絶ちません。職場では、長時間・過密労働やいじめ・パワハラが増大しています。非正規労働者が4割を超え、実質賃金は6年連続マイナス、職場には奨学金の返済に迫られる青年も少なくありません。下請け中小企業への単価の切り下げで地域経済をいっそう疲弊させ、格差と貧困が広がっています。私たちは、すべての労働者の賃金底上げ、均等待遇の実現と社会保障の拡充を強く求めます。

安倍「働き方改革」は、労働時間管理の規制をなくし、過労死ラインを超える残業を合法化するなど、労働基準法を骨抜きにして、労働者を使い捨てにするものです。私たちは、高度プロフェッショナル制度を職場に持ち込ませず、残業時間を伸ばすような36協定の後退を許さないとりくみが必要です。職場で働くルールを確立し、1日8時間働けば人間らしく暮らせる社会の実現をめざしましょう。

組合員のみなさん

安倍政権は、内政でも外交でも暴走を極めています。軍事費の増大と社会保障全面改悪、教育の反動化、沖縄の米軍新基地建設、原発再稼働、カジノ解禁、TPPによる農業破壊を強引にすすめています。さらに、秋の臨時国会は、「自衛隊を明記する」改憲案の提出をもくろんでいます。戦争する国づくりにストップをかけるたたかいは正念場を迎えます。現在、森友学園・加計学園等のウソと偽りの政治に、国民の怒りは頂点に達しています。職場と地域で共同をさらにひろげ、安倍政権に退陣を迫り、市民と野党の共闘で政治を変えましょう。

私たちは、組合員参加の運動をすすめ、賃上げ、最低賃金引き上げ、消費税増税反対、社会保障の拡充、核兵器廃絶、脱原発、愛知県政をはじめとする政治の革新など、いつでも働く者のいのちとくらしを守る運動の先頭にたってきました。財界大企業の横暴を許さず、単産・地域労連の総力をあげて、憲法を国民生活のすみずみに活かす政治を実現しましょう。

組合員のみなさん

愛労連は、来年11月に結成30年を迎えます。愛労連運動の歴史と伝統を受け継ぎ、労働者・国民の盛りだくさんの要求を実現するために、職場・地域を基礎に、すべての組織が純増で30周年を迎えましょう。本日の大会で確立した方針を実践し、労働者・国民のくらしと平和、憲法が活きる職場・地域・社会をめざして、おいに奮闘しましょう。

以上決議します。

2018年7月22日

愛知県労働組合総連合 第58回定期大会